PETER DAVID BETER・音声書簡 第63号

1981年4月1日

テーマ1 アメリカとロシアによるファーストストライク計画

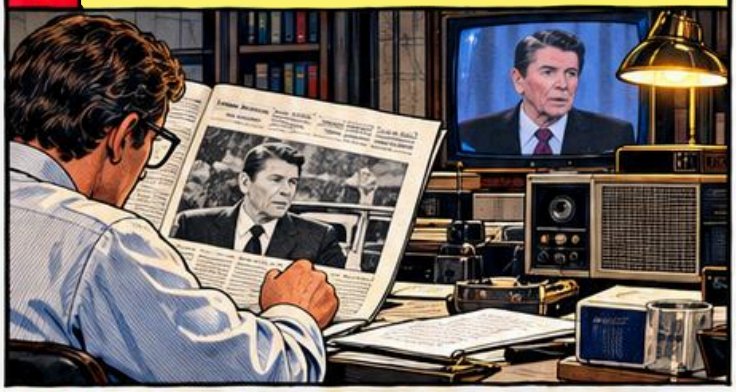
1 ポーランドの労働危機は東西の対立を激化させた。



2 公式のレトリックはますます好戦的になった。



3 レーガン大統領への攻撃は政治的不確実性を強めた。



4 彼の主張について話すと、書類のある机でもっとよく。



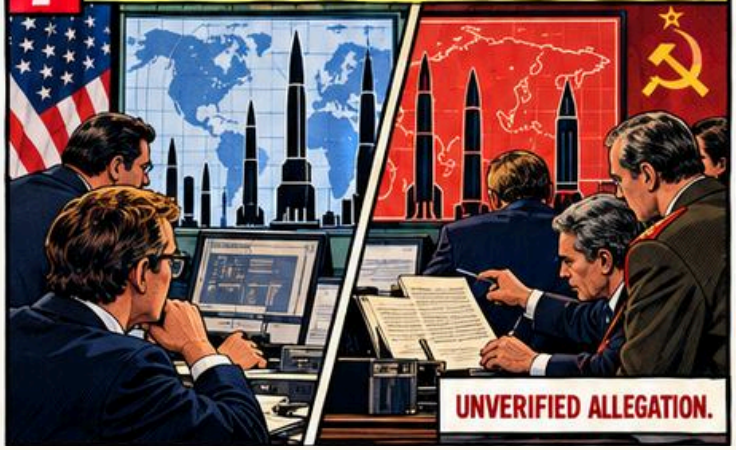
5 彼の「ロボコイド」と「合成」の物語は、仮説的で支持されていなかった。



6 ベターはシャトルを宇宙における軍事競争理論に折り畳んだ。



7 両大国ともストライキの選択肢を再検討していると強調した。



8 エスカレーションによって何百万人もの人が危険にさらされる可能性がある。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第63号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第63号

1981年4月1日

テーマ2 アメリカの独裁制への経済的な道

1 1981年3月、統合と効率に関する大統領評議会が設立された。



2 その目的は、廃棄物、詐欺、非効率と戦うことであった。



3 ベターは「ALLEGED SECRET CONSTITUTION」というラベルの文書を持って評議会に来ます。



4 ベターは緊縮と軍事費が一緒に動いていたと主張した。



5 彼は、将来の緊急事態が100ドル札を標的になると予測した。



6 彼のシナリオは、銀行の休日と一時的な市場閉鎖でした。



7 Beter氏はキャッシュレスシステムが侵入的な金融コントロールを可能にする可能性があると警告した。



8 経済的な緊急事態権限は、精査、証拠、および合法的な監視に値する。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第63号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第63号

1981年4月1日

テーマ3 逃げるか戦うかの決定は

1 暗殺の試みは恐怖と不確実性の気候を強調した。



2 より良い選択を完璧にフレーム:危険を残したり、滞在して抵抗します。



3 ベターのキャンペーン



4 永続性、ドキュメント、そしてパブリックアカウンタビリティを求めている。



5 ベターは過去の大統領を呼び、後に機関や政策を批判した。



6 彼は不正の証拠に従うという政府の約束を試すよう提案した。



7 リスナーは、金の疑惑についてレーガン大統領に請願するよう促された。



8 永続的な質問:危機から撤退するか、事実と合法的に対決するか？



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第63号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。